

令和2年度
大村市教育委員会
点検・評価報告書
(令和元年度事業分)

令和2年11月
大村市教育委員会

目 次

	ページ
はじめに	1
学識経験者の所見	2～3
第1 教育委員会の活動及び管理執行事務	
1 教育委員会及び教育委員の活動	4
(1) 教育委員会会議の運営及び情報発信	
(2) 教育委員会と事務局との連携	
(3) 教育委員会と市長との連携	
(4) 教育機関等との連携	
(5) 教育委員の自己研鑽	
2 教育委員会が管理又は執行する事務	5
(1) 学校教育又は社会教育に関する一般方針の決定	
(2) 学校その他の教育機関の設置及び廃止の決定	
(3) 県費負担教職員の懲戒及び任免その他進退についての内申	
(4) 教育長、教育政策監、教育次長、課長及びその他の教育機関（小学校及び中学校を除く）の長の任免	
(5) 教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検評価	
(6) 教育委員会規則及び規程の制定又は改廃	
(7) 教育予算その他議会の議決を経るべき議案に係る意見の申出	
(8) 教育委員会の所管に属する各種委員会の委員の任命又は委嘱	
(9) 学齢児童生徒の就学すべき学校の区域の設定及び変更の決定	
(10) 教科用図書の採択に関すること	
第2 教育委員会が管理・執行を教育長に委任する事務	
基本目標1：人を育むまち	
〈子育てしやすいまちづくり〉	
1 子育てを支える環境の充実	6
(1) 巡回補導事業	
2 子育てと支援の両立	6
(1) 放課後子ども教室推進事業	
〈豊かな学力と生きる力を育む教育の充実〉	
3 幼児教育の充実	6
(1) 私立幼稚園就園奨励費補助金	
(2) 幼稚園運営事業	

4 小・中学校教育の充実 7～10

- (1) 小・中学校管理事業
- (2) 小・中学校教育用コンピュータ活用事業
- (3) 小・中学校教育用 I C T 機器活用事業
- (4) 小・中学校災害共済給付事業
- (5) 小・中学校教材等整備事業
- (6) 小・中学校就学援助事業
- (7) 子ども読書活動推進事業
- (8) 特別支援教育推進事業
- (9) 英語力向上対策事業
- (10) 学校経営研究事業
- (11) 教員補助員派遣事業
- (12) 教職員研修事業
- (13) 就学教育相談事業
- (14) 就学时健康診断事業
- (15) 小・中学校健康管理支援事業
- (16) 小学校体育大会開催事業
- (17) 小中学生文化振興事業
- (18) 中学校体育大会開催事業 (市中総体)
- (19) 中学校体育大会開催事業 (県中総体)
- (20) 保健推進事業
- (21) 小中連携・一貫教育事業

5 教育環境の充実 10～12

- (1) 小・中学校遠距離通学対策事業
- (2) 大村市心の教室相談員配置事業
- (3) 心のケア充実対策事業
- (4) 学校適応指導教室運営事業
- (5) 小・中学校管理事業
- (6) 小・中学校校舎等整備事業
- (7) 小・中学校施設環境改善事業
- (8) 奨学金事業
- (9) 学校給食管理事業
- (10) 学校給食助成事業

〈文化の振興と生涯学習の充実〉

- 6 文化財の保護・活用・継承 13～14
 - (1) 郷土を誇りに思う子ども育成事業
 - (2) 文化財管理事業
 - (3) 市内遺跡発掘調査事業
 - (4) 三城城跡保存整備事業
 - (5) 民俗芸能保存事業
 - (6) 旧楠本正隆屋敷管理運営事業
 - (7) 史料館管理運営事業
 - (8) 大村市歴史資料館（仮称）整備事業

- 7 芸術・文化の振興 15
 - (1) 文化活動振興事業
 - (2) 市民ギャラリー運営費補助金
 - (3) 子ども芸術文化活動事業
 - (4) 音楽があふれるまちづくり事業
 - (5) 体育文化センター設備改修事業

- 8 生涯学習の充実 16～17
 - (1) 成人式開催事業
 - (2) 公民館管理運営事業
 - (3) 公民館講座開催事業
 - (4) 西大村地区公民館管理運営事業
 - (5) 子ども科学館運営管理事業
 - (6) 視聴覚ライブラリー管理運営事業
 - (7) 地区住民センター活動支援事業
 - (8) 生涯学習推進事業
 - (9) 新中地区公民館(仮称)建設事業

- 9 青少年の健全育成 18
 - (1) 健全育成協議会支援事業
 - (2) 子ども会育成事業
 - (3) 巡回補導事業
 - (4) 少年センター管理運営事業

10 図書館の充実と整備	19
(1) 図書館管理運営事業	
(2) 図書等整備事業	
(3) 新「大村市立図書館」準備事業	
(4) ミライオン施設等維持管理事業	
(5) ミライオン図書館備品等整備事業	

基本目標2：健康でいきいき暮らせるまち
 〈健康づくりの推進と医療体制の充実〉

11 スポーツの振興	20
(1) 体育文化センター運営管理事業	

基本目標3：持続可能な行財政運営と市民協働の推進
 〈効率的で開かれた行政運営の推進〉

12 効率的な行政運営の推進	21
(1) 公共施設予約システム管理事業	

〈地域コミュニティの活性化とみんなで取り組むまちづくり〉

13 地域コミュニティの活性化	21
(1) 大村市公民館連絡協議会補助金	
(2) 町内公民館建設費補助金	

14 市民活動の支援と協働の推進	21
(1) 市民憲章推進事業	

〈お互いを尊重し、誰もが活躍できる社会づくり〉

15 人権に関する教育と相談体制の充実	21
(1) 人権教育推進事業	

はじめに

本報告書は、効果的な教育行政の推進に資するとともに、市民への説明責任を果たしていくために、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第26条の規定に基づき、教育委員会の点検及び評価を行い、学識経験者の意見を付してその結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表するものです。

所 見

大村市教育委員会の令和元年度事業分点検・評価報告書について概要説明を受け、ヒアリングを行ったので、その所見を述べさせていただきます。

(評価できる点)

- 1 小・中学校教育用コンピュータ活用事業及び小・中学校教育用 I C T機器活用事業については、情報化が進展しているなか、主体的に対応できる力を養うことができるため、有効性が高い。また、I C T機器の導入が教職員の負担軽減にもつながっており、評価できる。今後、G I G Aスクール構想による個人用タブレットの配置が予定されており、コロナ禍における対策、また将来における新たな個に応じた教育の進展においても大きく期待できる。
- 2 小・中学校教材等整備事業においては、教科学習における教材整備は、学習理解を助け、確かな学力を身に付けさせるために不可欠である。特に児童生徒の科学などへの意欲を喚起する教材である理科設備の整備率が前年度に比べ向上していることは、評価できる。
- 3 特別支援教育推進事業については、特別支援学級設置校における教育活動を支援するとともに、他校との合同行事を実施しており、合同作品展やチャレンジド運動会の参加数の増加など大幅に目標達成率を上げていることは、評価できる。
- 4 英語力向上対策事業については、小・中学校に13名のALTを配置し、外国語によるコミュニケーション力を向上させるとともに、インターナショナルデイやイングリッシュデイの実施によって学校外でも英語に接する機会が充実してきたことは、評価できる。
- 5 教員補助員派遣事業については、各種補助員が増員され、一人ひとりの子どもたちに行き届いた支援がなされている。また、学習に集中する時間が確保され効果的な学習につながっており、評価できる。
- 6 小・中学生文化振興事業については、児童生徒の情操教育を育み豊かな心を育成していくうえで重要な取組である。美術作品展や音楽会への参加者数も増加し、情操教育への向上につながっており、評価できる。
- 7 中学校体育大会開催事業については、部活動の活性化につながっている。その結果、県下において生徒が好成績を収めていることは、評価できる。
- 8 大村市心の教室相談員配置事業や心のケア充実対策事業では、相談員や専門家である S S Wの配置など教育相談体制が充実している。また、近年増加傾向にある不登校児童生徒への対策においても、学校適応指導教室運営事業による「あおば教室」で手厚く対応しており評価できる。
- 9 小・中学校施設環境改善事業では、平成30年度の中学校普通教室へのエアコン設置に引き続き、小学校の普通教室及び小中学校の特別教室へのエアコン設置を行い、快適な学習環境が整備され、今後の学習効果の向上につながることを期待できる。

- 1 0 成人式開催事業については、新成人及び次期成人者で組織する企画運営委員会が主体的に企画・運営を行っており、参加者のニーズに合った成人式が行われていることは、評価できる。
- 1 1 図書館管理運営事業及び図書等整備事業については、ミライオン図書館の開館を踏まえ、蔵書数も増えて魅力ある図書館の環境が整った。利用者数や個人貸出冊数も大きく増加し、評価できる。
- 1 2 子ども芸術文化活動事業及び音楽があふれるまちづくり事業については、児童生徒の日々の情操教育学習に大きな影響力をもち、将来的な文化活動の継承にもつながっている。市民の生きる力を育む糧となる事業であり、評価できる。今後も推進していただきたい。
- 1 3 公共施設予約システム管理事業については、インターネットで公共施設の空き状況の確認や予約ができるシステムであるため、利用者の増加が期待できる。今後、高齢者向けによりわかり易い予約システムの操作方法などの説明を充実していただきたい。

(改善を要する点)

- 1 有意義な文化活動が計画されている中で、その発表する場所として現在大村市には、舞台装置等が整った公共のホールとして唯一「さくらホール」が存在しているが、今後大きなイベントが開催できるよう、文化ホールの設置をしていただきたい。
- 2 子ども会育成事業については、将来的な町内会の発展にも関係があり地域や家庭の教育力の充実にもつながる重要な事業である。今日的課題として共働きの家庭が増加するなかで、指導者の発掘や育成が大きな課題でもあり、加入者の減少に歯止めがかけられない状況にあることから、子ども会の在り方については抜本的に見直す必要があると考える。

令和2年 //月 //日

点検・評価委員

尾崎 嘉生

野田 和宏

第1 教育委員会の活動及び管理執行事務

1 教育委員会及び教育委員の活動

項目		点検・評価のコメント
		活動内容等
(1) 教育委員会会議の運営及び情報発信	ア 会議の開催回数	<p>毎月1回の定例会及び必要に応じ臨時会を開催し、審議が必要な事項は漏れなく行われている。</p> <p>定例会12回、臨時会4回開催した。</p>
	イ 議事録の公開、広報、公聴活動の状況	<p>定例教育委員会の会議の開催日時・場所等を市のホームページや広報紙に掲載するとともに、議事録についても市のホームページへ掲載し、積極的な情報発信を行っている。</p> <p>令和元年度における傍聴者10人</p>
(2) 教育委員会と事務局との連携		<p>必要な情報提供や議案等の会議資料は事前送付を行うように努めており、教育委員と事務局の連携は図れている。</p> <p>議案を事前に送付することで、十分な審議ができるよう努めている。また、議案以外の事項についても委員と協議を行い業務を遂行している。</p>
(3) 教育委員会と市長との連携		<p>教育長は事務局の長として常日頃から市長・副市長との連携を図っている。</p> <p>教育委員と市長との総合教育会議を4回実施した。</p>
(4) 教育機関等との連携	ア 学校への訪問	<p>研究発表会、運動会、卒業式等、各小中学校ごとの行事へ積極的に参加している。</p> <p>学校訪問回数 31回</p>
	イ その他施設への訪問、行事参加等	<p>学校以外の施設への訪問、行事参加を行った。</p> <p>その他教育功労表彰・成人式等行事参加 52回</p>
(5) 教育委員の自己研鑽		<p>市町村教育委員会研究大会や研修会に出席し、教育委員の資質向上を図った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・長崎縣市町村教育委員会連絡協議会研修会（諫早市） 4人 ・長崎縣市町村教育委員会研究大会（長崎市） 4人 ・九州地区市町村教育委員会研修大会（大分市） 2人

第2 教育委員会が管理又は執行する事務

項目	点検・評価のコメント
	活動内容等
(1) 学校教育又は社会教育に関する一般方針の決定	大村市教育振興基本計画に基づき、大村市の教育方針及び重点目標を決定している。
	重点目標の決定（令和2年3月定例会）
(2) 学校その他の教育機関の設置及び廃止の決定	なし
(3) 県費負担教職員の懲戒及び任免その他進退についての内申	任免その他進退に係る内申については、定例会において審議し決定した。
	教職員の人事内申に係る決定（2月定例会）
(4) 教育長、教育政策監、教育次長、課長及びその他の教育機関（小学校及び中学校を除く）の長の任免	任免その他進退については、臨時会において審議し決定した。
	事務局職員の人事に係る決定（3月臨時会）
(5) 教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検評価	地方教育行政の組織及び運営に関する法律第26条の規定に基づき実施した。
	<ul style="list-style-type: none"> ・令和2年3月 市議会へ報告 ・令和2年3月 報告書を市ホームページに掲載
(6) 教育委員会規則及び規程の制定又は改廃	必要な規則改正等については、漏れなく審議している。
	規則の制定改正 16件
(7) 教育予算その他議会の議決を経るべき議案に係る意見の申出	必要な案件は漏れなく審議している。
	条例 3件、予算（当初） 1件、予算（補正） 5件 その他 4件 計 13件
(8) 教育委員会の所管に属する各種委員会の委員の任命又は委嘱	各種委員会の委員の任命又は委嘱については、定例会において審議し決定した。
	委員の委嘱の議案 4件
(9) 学齢児童生徒の就学すべき学校の区域の設定及び変更の決定	該当事例なし
(10) 教科用図書の採択に関すること	無償措置法第13条に基づき令和2年度使用小学校用教科用図書の採択事務を実施した。

【基本目標1】人を育むまち

政策	施策	具体的事業名	点検・評価のコメント																													
			活動内容等																													
子育てしやすいまちづくり	子育てを支える環境の充実	(1)巡回補導事業 【社会教育課】	<p>青少年の非行防止のため、愛の声かけを中心とした補導活動を実施している。 また、市内の中学校・高校・駅前駐輪場において、毎月、自転車の施錠調査を実施し、二重ロックの推進を図っている。</p> <p>14地区で毎月2回の定期補導を行い、夏越祭りや地区の祭り開催時には特別補導を実施した。また、新任研修会を1回、全員研修会を2回行い、資質向上に努めた。</p> <p>補導活動（特別補導を含む）延べ 1,539人 各種研修会 延べ 140人</p>																													
		子育てと支援の両立	<p>(1)放課後子ども教室推進事業</p> <p>放課後や週末等の子どもたちの安全・安心な居場所を確保するため、小学校の余裕教室や野外教室等を活用して、宿題、読書、昔遊び、野外体験活動等の取組を実施した。</p> <table border="0"> <tr> <td>三浦野性の森放課後子ども教室</td> <td>開催24日</td> <td>登録者28人</td> </tr> <tr> <td>中央小放課後子ども教室</td> <td>開催27日</td> <td>登録者29人</td> </tr> <tr> <td>鈴田小放課後子ども教室</td> <td>開催27日</td> <td>登録者14人</td> </tr> <tr> <td>松原宿寺子屋塾放課後子ども教室</td> <td>開催5日</td> <td>登録者73人</td> </tr> <tr> <td>三浦小放課後子ども教室</td> <td>開催21日</td> <td>登録者22人</td> </tr> <tr> <td>黒木小放課後子ども教室</td> <td>開催23日</td> <td>登録者23人</td> </tr> <tr> <td>竹松小放課後子ども教室</td> <td>開催26日</td> <td>登録者28人</td> </tr> <tr> <td>松原小英会話放課後子ども教室</td> <td>開催32日</td> <td>登録者36人</td> </tr> <tr> <td>英語学習放課後子ども教室</td> <td>開催2日</td> <td>登録者8人</td> </tr> <tr> <td>玖島中学校OMURA未来塾</td> <td>開催55日</td> <td>登録者43人</td> </tr> </table> <p>※玖島中学校OMURA未来塾は令和元年度から実施した。</p> <p>【社会教育課】</p>		三浦野性の森放課後子ども教室	開催24日	登録者28人	中央小放課後子ども教室	開催27日	登録者29人	鈴田小放課後子ども教室	開催27日	登録者14人	松原宿寺子屋塾放課後子ども教室	開催5日	登録者73人	三浦小放課後子ども教室	開催21日	登録者22人	黒木小放課後子ども教室	開催23日	登録者23人	竹松小放課後子ども教室	開催26日	登録者28人	松原小英会話放課後子ども教室	開催32日	登録者36人	英語学習放課後子ども教室	開催2日	登録者8人	玖島中学校OMURA未来塾
三浦野性の森放課後子ども教室	開催24日	登録者28人																														
中央小放課後子ども教室	開催27日	登録者29人																														
鈴田小放課後子ども教室	開催27日	登録者14人																														
松原宿寺子屋塾放課後子ども教室	開催5日	登録者73人																														
三浦小放課後子ども教室	開催21日	登録者22人																														
黒木小放課後子ども教室	開催23日	登録者23人																														
竹松小放課後子ども教室	開催26日	登録者28人																														
松原小英会話放課後子ども教室	開催32日	登録者36人																														
英語学習放課後子ども教室	開催2日	登録者8人																														
玖島中学校OMURA未来塾	開催55日	登録者43人																														
豊かな学力と生きる力を育む教育の充実	幼児教育の充実	(1)私立幼稚園就園奨励費補助金 【こども政策課】	<p>私立幼稚園保護者の負担軽減のために就園奨励費補助金を交付し、子育て支援の対策としては効果が大きいものとなった。また、平成28年度から一部階層区分でひとり親世帯等が追加され、同階層での補助限度額を拡大し、より一層保護者の負担軽減に努めた。</p> <p>令和元年10月からの幼児教育保育の無償化により、3歳以上の保育料が無料となったことにより、令和元年度をもって事業を終了とする。</p> <p>補助金対象者 523人 (該当者446人)</p>																													
		(2)幼稚園運営事業 【こども政策課】	<p>公立幼稚園施設の維持管理や保育事業の実施など、適正な幼稚園の運営を行っている。</p> <p>・幼稚園園舎等整備 維持補修件数 11件 ・幼稚園運営事業費 13,555,245円</p>																													

【基本目標1】人を育むまち

政策	施策	具体的事業名	点検・評価のコメント	
			活動内容等	
豊かな学力と生きる力を育む教育の充実	小・中学校教育の充実	(1)小・中学校管理事業	学校の施設設備の維持管理のため、各学校へ予算を配当している。各学校へ配当された予算は、学校の経常的な維持管理を行う経費であり、良好な教育環境を継続的に提供していくため有効に執行されており、適正な学校の運営管理を行っている。	
		【学校教育課】	・小学校管理事業費 ・中学校管理事業費	99,277,054円 59,092,809円
		(2)小・中学校教育用コンピュータ活用事業	情報化が進展している現代社会において、コンピュータを介して「情報」に主体的に対応できる力を養えるため有効性は高い。	
		【学校教育課】	・小学校 ・中学校	29,242,601円 13,476,224円
		(3)小・中学校教育用ICT機器活用事業	学力向上につなげる授業改善を進める方策として、各学校におけるICT機器を活用した授業の実践は不可欠である。モデル校と同様のICT環境を他校へ整備することによって、市全体の授業改善の推進や学力向上が期待できる。	
		【学校教育課】	・小学校 ・中学校	6,911,025円 2,021,964円
(4)小・中学校災害共済給付事業	独立行政法人日本スポーツ振興センターの災害共済給付金制度に加入し、学校管理下で起こった児童生徒のけが等の治療にかかわる保護者の負担を軽減している。			
【学校教育課】	・給付件数（小学校 545件：中学校 238件） ・給付金額（小学校5,726,720円：中学校2,686,320円）			
(5)小・中学校教材等整備事業	教科学習における教材整備は、基礎・基本的な学習理解を助け、確かな学習能力を身に付けさせるうえで重要であり、その充実は不可欠である。			
【学校教育課】	・学校図書蔵書率（小学校 86.8%：中学校 109.5%） ・理科設備整備率（小学校 82.2%：中学校 85.6%）			
(6)小・中学校就学援助事業	「教育の機会均等」の観点から、経済的理由により就学困難な児童生徒の保護者に対し、学用品費・給食費等必要な援助を行い、保護者の負担を軽減することで、教育の機会均等を図っている。			
【学校教育課】	認定件数（準要保護＋要保護） 小学校 829人 中学校 476人			

【基本目標1】人を育むまち

政策	施策	具体的事業名	点検・評価のコメント
			活動内容等
豊かな学力と生きる力を育む教育の充実	小・中学校教育の充実	(7)子ども読書活動推進事業	<p>学校司書が配置されたことにより、子どもの読書冊数が大幅に増加し、読書活動の推進が図られた。また、学校図書館ネットワークシステムの活用により、利用しやすい図書館づくりができています。</p> <p>学校司書を配置し、蔵書整備や学習センターとしての機能の充実等、本と子どもをつなぐ取組を実施する。また、学校図書館ネットワークシステムを活用し、利用しやすい図書館づくりを行う。</p> <p>・図書貸出実績 551,801冊 ・目標達成率 75.0%</p> <p>※目標達成率が前年度比マイナス33%となった要因は、前年度までの目標冊数を50冊/人から80冊/人に上げたが、新型コロナウイルス感染防止のための休校等で貸出冊数伸び悩んだためと考えられる。</p> <p>【学校教育課】</p>
		(8)特別支援教育推進事業	<p>特別支援教育に携わる教員の指導力を向上させるとともに、配慮を要する児童生徒の活躍の場を保障する有効な機会となっている。</p> <p>特別支援学級設置校における教育活動を支援するとともに、市内特別支援学級設置校間での合同作品展、合同交流会、合同運動会を実施する。</p> <p>・チャレンジ2行事参加者数 1,928人 ・目標達成率 170.9%</p> <p>【学校教育課】</p>
		(9)英語力向上対策事業	<p>小・中学校の授業でALT（外国語指導助手）を活用することにより、外国人と接する学習場面を設定できるとともに、外国語を用いてコミュニケーションを図る楽しさを体験したり、言語や文化に対する理解を深めることができている。</p> <p>13人のALTを全小・中学校へ配置し、英会話による授業や英語活動を行った。 市内公立幼稚園を訪問し、早期に英語や異文化に触れる機会を作った。 小学生対象のインターナショナルデイ、中学生対象のイングリッシュデイを夏休みに実施した。</p> <p>【学校教育課】</p>
		(10)学校経営研究事業	<p>事業の継続により、各校においては有効に予算が活用され、特色ある教育活動が展開されている。</p> <p>学級経営・指定研究・総合学習・特別活動の4分野について、学校の実状に合わせた特色ある学校経営を推進する。</p> <p>【学校教育課】</p>
		(11)教員補助員派遣事業	<p>配慮を要する児童生徒一人ひとりへの対応が可能となるとともに、学級集団が授業へ集中する時間を確保することができ、学級全体の学力向上を図る上で効果がある。</p> <p>支援を要する児童生徒の在籍する学校に補助員を配置する。</p> <p>・各種補助員等 50人配置</p> <p>【学校教育課】</p>

【基本目標1】人を育むまち

政策	施策	具体的事業名	点検・評価のコメント
			活動内容等
豊かな学力と生きる力を育む教育の充実	小・中学校教育の充実	(12)教職員研修事業	<p>研修会の開催が教職員全体の意識の高揚につながっており、その資質向上に大いに寄与している。</p> <p>小学校教育研究会・中学校教育研究会・校長会・教頭会に対し、研修の助成を行う。</p> <p>・校長会、教頭会、教諭等研修会数 30回</p>
		【学校教育課】	
		(13)就学教育相談事業	<p>就学相談事業の充実により、児童の適正な就学が図られている。</p> <p>就学児童の障害の種類や程度について実態を把握するとともに、保護者の悩みや不安、要望等について就学相談を行う。</p> <p>・教育相談回数 251回</p>
		【学校教育課】	
		(14)就学時健康診断事業	<p>要配慮児童の早期把握や入学後の児童の健康管理等において貴重な資料となっている。</p> <p>就学予定児童の心身の状況を把握する就学時健康診断を行う。</p> <p>・受診者数 1,012人 ・受診率 100%</p>
		【学校教育課】	
		(15)小・中学校健康管理支援事業	<p>学校教育法及び学校保健安全法に基づき実施している。</p> <p>市内小学校児童生徒及び教職員の健康の保持増進を図るために健康診断を実施する。</p> <p>(小学校)健康診断受診者数 9,281人 ・受診率 100% (中学校)健康診断受診者数 4,817人 ・受診率 100%</p>
		【学校教育課】	
(16)小学校体育大会開催事業	<p>小学校児童の体育の振興や他校児童との交流等の成果をあげている。</p> <p>市内小学生の体育の充実・発展及び心身の健全な発達等を図るため、体育祭および水泳大会を実施する。</p> <p>・体育大会参加者数 2,120人 ・水泳大会参加者数 229人</p>		
【学校教育課】			
(17)小中学生文化振興事業	<p>児童生徒が、お互いの合唱や演奏を鑑賞したり、絵画や版画及び工芸等の作品にふれたりすることは、情操を培うことにつながり、豊かな心を育成していくうえで非常に大切である。</p> <p>市内音楽会、図工美術作品展の開催を実施する。</p> <p>・小、中音楽会への参加者数 2,240人 ・図工、美術作品展への参加者数 約2,300人</p>		
【学校教育課】			
(18)中学校体育大会開催事業(市中総体)	<p>中学校生徒の体育の振興、体力向上等の成果をあげている。</p> <p>市内中学生の体育や部活動の充実・発展及び心身の健全な発達等を図るため、各種体育大会(中学校総合体育大会・駅伝大会・新人大会)を開催する。</p> <p>・運動部入部者数 1,958人</p>		
【学校教育課】			

【基本目標1】人を育むまち

政策	施策	具体的事業名	点検・評価のコメント
			活動内容等
豊かな学力と生きる力を育む教育の充実	小・中学校教育の充実	(19)中学校体育大会開催事業(県中総体)	<p>県中学校総合体育大会に市の代表として参加することにより、生徒の運動部活動の充実・発展や競技力向上につながっている。</p> <p>県中学校総合体育大会に市内大会を経て代表となった選手の輸送費、練習費を助成する。</p> <p>・県大会出場者数 492人</p>
		(20)保健推進事業	<p>各部会ごとの研修や実践発表等により、学校保健活動の充実が図られた。</p> <p>学校保健活動の充実を図るため、大村市学校保健会に活動費を助成する。</p> <p>・保健推進部会 7回 ・参加率 100%</p>
		(21)小中連携・一貫教育事業	<p>幼保小・小中連携に係る取組事例の広報や大村市学期制準備委員会等を開催し、総合的に連携事業を推進している。</p> <p>・小中連携活動費による6中学校区の連携推進 ・あすチャレ!スクール…年1回開催 郡中校区(3小学校、1中学校) ・大村市学期制準備委員会…年3回開催</p>
	教育環境の充実	(1)小・中学校遠距離通学対策事業	<p>遠距離通学児童生徒の保護者の負担軽減を図るとともに安心安全な通学を確保している。また、市単独事業として小学校は3km以上4km未満、中学校は5km以上6km未満の児童生徒についても通学費の75%を補助している。</p> <p>・小学校 125人 内訳(100%補助 79人、75%補助 46人) ※100%補助に黒木小特別転入学児童7人含む。</p> <p>・中学校 88人 内訳(100%補助 78人、75%補助 10人)</p>
		(2)大村市心の教室相談員配置事業	<p>不登校対策を一層推進していくためにはその予防に努めることが何よりも重要であり、その意味で非常に必要性が高い事業である。</p> <p>心に悩みを抱える児童生徒の気軽な相談相手として「心の教室相談員」を全中学校と小学校13校、合せて19校に配置し、児童生徒の心の安定を図る。</p>
		(3)心のケア充実対策事業	<p>不登校対策をはじめ、複雑・多様化する生徒指導上の問題、課題を抱える保護者への対応など、スクール・ソーシャル・ワーカー(SSW)の存在は、大村市の教育相談体制に欠かせないものである。</p> <p>スクール・ソーシャル・ワーカーを教育委員会に配置し、児童生徒・保護者・教職員の相談等にあたる。</p>

【基本目標1】人を育むまち

政策	施策	具体的事業名	点検・評価のコメント
			活動内容等
豊かな学力と生きる力を育む教育の充実	教育環境の充実	(4)学校適応指導教室運営事業 【学校教育課】	<p>あおば教室は、不登校児童生徒の心的ケア及び学習を保障する場であり、学校復帰への大きなステップになっている。</p> <p>教室長、指導主事、教育相談員、補助指導員等による集団活動や学習指導をとおして、学校や集団活動に適應できる規則正しい生活や社会性を育成する。</p>
		(5)小・中学校管理事業 【教育総務課】	<p>学校財産の適正な維持管理のために必要な保守点検等を行った。</p> <p>貯水槽清掃委託、警備委託等</p> <p>・小学校 18,119,309円 ・中学校 12,271,486円</p>
		(6)小・中学校校舎等整備事業 【教育総務課】	<p>学校設備の延命化及び教育環境の維持管理のためには日常の点検・補修及び定期的な維持補修が必要であり、緊急的な補修及び学校現場からの要望に対し必要に応じて施設の維持補修を行った。</p> <p>維持補修件数 小学校 116件、中学校 56件</p>
		(7)小・中学校施設環境改善事業 【教育総務課】	<p>児童生徒が快適に学べるよう、学校施設の環境改善のための整備を促進している。</p> <p>小学校の普通・特別教室及び中学校の特別教室へのエアコン設置工事を行った。 小学校（7校）のトイレ洋式化改修工事を行った。（R1～R4年度継続事業）</p>
		(8)奨学金事業 【教育総務課】	<p>教育の機会均等化と、有為な人材を育成して教育の振興に寄与することを目的として奨学金の貸与及び給付を行った。</p> <p>・貸与者数 高校等 11人 大学等 20人 ・給付者数 大学 0人</p>

【基本目標1】人を育むまち

政策	施策	具体的事業名	点検・評価のコメント
			活動内容等
豊かな学力と生きる力を育む教育の充実	教育環境の充実	(9)学校給食管理事業	<p>学校給食を通して、児童生徒の適切な栄養摂取による健康の保持増進や正しい食習慣の習得、食生活の理解に努めている。 高度な衛生基準に基づく最新の設備により、安全・安心な給食を毎日提供し、残食率も低い。 食物アレルギー対応については、「学校給食における食物アレルギー対応の手引き」に基づき実施されている。また、定期的アレルギー対応委員会を開催し、手順等の検証を行うことで、より一層安全・安心な運用が図られている。</p> <p>市内の中学校・小学校・市立幼稚園に給食を提供した。</p> <p>中学校（6校） ・給食実施日数 176日/年 ・食数 3,112食/日 ・鶏卵アレルギー対応の代替食・除去食の提供 7人</p> <p>小学校（15校） ・給食実施日数 181日/年 ・食数 6,700食/日 ・鶏卵アレルギー対応の代替食・除去食の提供 23人</p> <p>市立幼稚園（3園） ・給食実施日数 155日/年 ・食数 109食/日</p> <p>【教育総務課】</p>
		(10)学校給食助成事業	<p>学校給食会は、安全・安心な良質の食材を適正価格で購入し、必要な量を安定的に学校給食センターへ提供している。これにより、適正な学校給食費で良質の学校給食が提供されている。</p> <p>学校給食を円滑に実施するため学校給食会を設置し、良質で安価な給食物資を調達している。同会の人件費等の運営費として補助金を交付している。</p> <p>・学校給食会補助金 11,677,087円</p> <p>【教育総務課】</p>

【基本目標1】人を育むまち

政策	施策	具体的事業名	点検・評価のコメント
			活動内容等
文化の振興と生涯学習の充実	文化財の保護・活用・継承	(1)郷土を誇りに思う子ども育成事業	<p>市内小中学校に設置された郷土史クラブに対し、学芸員がその活動を支援し、共に研究活動を行うことで、児童生徒の地域の歴史の理解が深まった。</p> <p>小中学校に郷土史クラブの設置・活動を促し、支援を行うため、大村市の歴史・人物について一定のテーマを設けて調査・研究を行い、郷土の歴史を理解する。 学校ごとに地域の特色を生かした研究テーマを設定して調査研究活動を行い、学習成果発表会、史跡等の見学などを実施する。</p> <p>参加校・人数：11校（小10、中1）、158人（小152、中6） 史跡見学ツアー1回（市内・長崎市） 2月 成果発表会 3月の企画展は新型コロナウイルスにより延期 ※令和2年度から歴史資料館の教育普及事業の中に統合</p> <p>【文化振興課】</p>
		(2)文化財管理事業	<p>指定文化財の除草・清掃など維持管理を行い、文化財の適切な保護に努めた。</p> <p>大村市の歴史の証しである貴重な文化財を保護し、後世へ継承するため、大村純忠史跡公園などの指定文化財地の除草・清掃などの維持管理を行う。 文化財の保護を図るため、文化財審議会を開催して指導・助言を得る。 指定文化財の管理者に、維持管理に関する経費の補助を行う。</p> <p>・維持管理文化財数 18件 ・国・県・市指定文化財数 53件</p> <p>【文化振興課】</p>
		(3)市内遺跡発掘調査事業	<p>開発に伴う遺跡照会に対応し、保護の調整、必要に応じて確認調査を実施し、遺跡を適切に保護することができた。 昨年度から遺跡照会件数は大幅に増加している。大規模開発も依然増加傾向にある。</p> <p>遺跡該当照会件数 933件（うち遺跡該当247件） 遺跡該当中の開発件数 183件（確認調査25件、慎重工事139件、立会調査19件） 確認調査25件分の調査面積801㎡（H30年度27件713㎡）</p> <p>【文化振興課】</p>
		(4)三城城跡保存整備事業	<p>城の周知を図るとともに、周辺住民に遺跡を身近に感じてもらうため、三城城跡先行買収地の除草等を地元町内会に委託した。</p> <p>戦国時代の大村氏居城である三城城の跡地は歴史のまち大村にとって重要な史跡であり、その保存を図り歴史教育や観光資源として活用する。 三城城跡の国指定を目指すとともに、開発公社で先行買収した曲輪Ⅱを城跡の保存整備の核に位置づける。 買収した土地は、一年を通じた除草・清掃作業によって環境が保全されるとともに、周辺住民が活用することで、城跡に慣れ親しんでいる。</p> <p>【文化振興課】</p>

【基本目標1】人を育むまち

政策	施策	具体的事業名	点検・評価のコメント
			活動内容等
文化の振興と生涯学習の充実	文化財の保護・活用・継承	(5)民俗芸能保存事業	<p>民俗芸能の保存継承のため、保存会へ補助金を交付した。例祭での奉納やおおむら秋祭りほか各種行事へ出演するなど、活発な活動ができた。</p> <p>国指定文化財である黒丸踊、寿古踊、沖田踊及びその他の民俗芸能の保存のため、管理・修理・保存及び公開に対する補助</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 寿古踊保存会（保存継承活動） ・ 沖田踊保存会（保存継承活動） ・ 黒丸踊保存会（保存継承活動） ・ 水主町ココデショ保存会（用具整備） ・ 大村獅子舞保存会（用具整備） ・ 木場龍踊保存会（用具整備） <p>【文化振興課】</p>
		(6)旧楠本正隆屋敷管理運営事業	<p>旧楠本正隆屋敷の維持管理を行い、併せて季節のイベントを行い集客を図った。</p> <p>旧楠本正隆屋敷の維持管理公開のため、屋敷管理、庭園管理、警備などを委託した。春は桜の時期に合わせ、大村家雛人形の展示と茶会を行い、夏は花菖蒲に合わせて武者絵の展示などを行う。</p> <p>・ 入場者数 1,979人</p> <p>【文化振興課】</p>
		(7)史料館管理運営事業	<p>大村に関する歴史資料を収集・保存するとともに、展示・資料閲覧などを通じて大村の歴史情報を発信し、地域の歴史の理解を深めた。</p> <p>令和元年10月5日に大村市歴史資料館が開館した。大村の歴史の普及や研究のため、大村に関する歴史資料を体系的に収集し、これを保管・管理する。歴史資料館において収集・整理した歴史資料を活用し、展示などを通じてその成果を情報発信する。</p> <p>令和元年度歴史資料館入館者数 30,305人</p> <p>【文化振興課】</p>
		(8)大村市歴史資料館(仮称)整備事業	<p>大村の歴史の継承・普及のため、県立市立一体型図書館との複合施設として、歴史資料館の整備を進めた。 (令和元年度終了)</p> <p>展示工事、展示制作委託が完了した。</p> <p>【文化振興課】</p>

【基本目標1】人を育むまち

政策	施策	具体的事業名	点検・評価のコメント
			活動内容等
文化の振興と生涯学習の充実	芸術・文化の振興	(1)文化活動振興事業 【文化振興課】	<p>文化協会関係団体、自主事業実施団体等補助金を交付したことによって、各団体は舞台発表や文化冊子の刊行を行った。 また九州・全国大会へ参加する小中学校の文化クラブに対し、遠征費を助成したことで、子供たちが参加しやすくなった。</p> <p>文化基金を活用し、文化協会や各種文化団体に対する補助を行う。また小中学校文化クラブが九州大会、全国大会に出場する遠征費に係る助成金を交付する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・文化活動振興事業補助金 8件 650,000円 ・県美術展補助金 1件 72,000円 ・文化活動遠征費補助金 7件 1,364,813円
		(2)市民ギャラリー運営費補助金 【文化振興課】	<p>運営協議会へ運営費を補助することによって、市民が一年を通じて様々な文化芸術作品を発表、鑑賞できる場として安定的な活動がなされた。</p> <p>文化協会・美術協会・中央商店街・観光コンベンション協会等が「まちかど市民ギャラリー運営協議会」を立ち上げ、協議会会則・使用規定に基づき運営管理を行っている。 運営協議会はギャラリー内に事務所を置き、利用者の展示受付・企画・広報等の業務を行っており、この運営協議会に対し補助を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・展示日数 358日 ・入場者数 22,218人
		(3)子ども芸術文化活動事業 【文化振興課】	<p>子どもたちが生の芸術文化に触れることにより、音楽の楽しさを感じ、芸術文化のすばらしさを知ることができた。</p> <p>生のオーケストラを聴く機会を設けるため、長崎OMURA室内合奏団のスクールコンサートを実施する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小学校5年生対象 参加児童数 1,000人
		(4)音楽があふれるまちづくり事業 【文化振興課】	<p>市内の様々な地域、様々な世代が音楽に親しむ機会を設けることができた。</p> <p>長崎OMURA室内合奏団に企画運営を委託し、まちかどコンサート、市民参加型音楽イベント、オーケストラコンサートなどを行った。</p>
		(5)体育文化センター設備改修事業 【文化振興課】	<p>体育文化センターの設備改修を行い、良好な利用ができる環境を整えることができた。</p> <p>築20年を経過する体育文化センターの改修を計画的に行っており、令和元年度は中央監視装置更新工事を行った。</p>

【基本目標1】人を育むまち

政策	施策	具体的事業名	点検・評価のコメント												
			活動内容等												
文化の振興と生涯学習の充実	生涯学習の充実	(1)成人式開催事業	<p>新成人者及び次期成人者からなる企画運営委員会が式典の企画・運営をおこなう等、式典に参画することにより、成人としての責任を自覚することができた。</p> <p>開催日 令和2年1月12日（日） 場 所 大村市体育文化センター（シーハットおおむら） 対象者 995人（男性 513人、女性 482人） 参加者 892人（男性 450人、女性 442人） 参加率 89.6%（男性87.7%、女性91.7%）</p> <p>※県立市立一体型図書館の建設に伴い、市民会館が閉館となり、平成28年度から会場を大村市体育文化センター（シーハットおおむら）へ変更して実施している。</p> <p>【社会教育課】</p>												
		(2)公民館管理運営事業	<p>地区住民や自主学習グループに、公民館での学習の機会と場の提供を行うことにより、生涯学習拠点施設としての利用促進を図ることができた。</p> <p>会議室等の貸出業務。施設設備の維持管理。 公民館運営審議会の開催（年2回） ※令和元年度はコロナ対策のため、2回目未実施</p> <p>利用状況</p> <table border="1"> <tr> <td>・中央</td> <td>5,675件</td> <td>117,845人</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・中地区</td> <td>1,948件</td> <td>29,255人</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・郡地区</td> <td>3,063件</td> <td>51,950人</td> <td>合計 199,050人</td> </tr> </table> <p>【社会教育課】</p>	・中央	5,675件	117,845人		・中地区	1,948件	29,255人		・郡地区	3,063件	51,950人	合計 199,050人
		・中央	5,675件	117,845人											
		・中地区	1,948件	29,255人											
		・郡地区	3,063件	51,950人	合計 199,050人										
(3)公民館講座開催事業	<p>地域ニーズや地域課題に応じた講座を企画実施し、多くの市民に学習の機会を効果的に提供することができた。</p> <p>主催事業の企画実施（中央・中地区・郡地区公民館）</p> <table border="1"> <tr> <td>・中央</td> <td>38講座</td> <td>延べ3,715人</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・中地区</td> <td>17講座</td> <td>延べ1,283人</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・郡地区</td> <td>17講座</td> <td>延べ 914人</td> <td>合計 5,912人</td> </tr> </table> <p>【社会教育課】</p>	・中央	38講座	延べ3,715人		・中地区	17講座	延べ1,283人		・郡地区	17講座	延べ 914人	合計 5,912人		
・中央	38講座	延べ3,715人													
・中地区	17講座	延べ1,283人													
・郡地区	17講座	延べ 914人	合計 5,912人												
(4)西大村地区公民館管理運営事業	<p>地域住民のふれあいとコミュニティ活動の推進を図る生涯学習施設として有効に活用されており、地域活性化のために寄与している。</p> <p>指定管理者による管理運営</p> <ul style="list-style-type: none"> ・会議室の貸出し・定例利用グループによる文化祭の実施 ・利用グループ活動の紹介広報誌の作成 <p>利用状況 1,225件 9,175人</p> <p>【社会教育課】</p>														
(5)子ども科学館運営管理事業	<p>児童の健全な育成に寄与するため、科学に関する様々な教室や科学館まつりを開催し、科学に関する知識の普及及び啓発を図った。</p> <p>開館日時 土・日・祝【4～9月：10～18時、10～3月：10～17時】 ※夏休み等の長期休業時は月曜日を除く毎日開館 開館日数：135日 来場者：5,251人 教室参加者：延べ1,020人（押し花教室・科学工作教室など）</p> <p>子ども科学館まつり</p> <ul style="list-style-type: none"> ・開催日 令和元年8月18日（日） ・場 所 中心市街地複合ビル（プラットおおむら）5階・6階 ・参加者数 1,157人 <p>※平成31年4月1日に中心市街地複合ビル（プラットおおむら）5階にリニューアルオープンした。</p> <p>【社会教育課】</p>														

【基本目標1】人を育むまち

政策	施策	具体的事業名	点検・評価のコメント
			活動内容等
文化の振興と生涯学習の充実	生涯学習の充実	(6)視聴覚ライブラリー管理運営事業	視聴覚機材、教材の整備充実を行い利用を促進し、社会教育・学校教育等の振興を図ることができた。
			視聴覚教材及び機材の貸出し及び整備
			・利用本数 119本、利用者数 4,286人 ・ライブラリーだより発行（毎月）
			【社会教育課】
		(7)地区住民センター活動支援事業	住民センター主催講座の開催や住民センターだよりを発行し、地域住民に対し学習機会の提供と情報発信を行った。また、図書の貸出し、整理を行い、図書館機能の増進を図った。
	利用実績		
	・三浦地区	延べ利用者数	8,571人
	・鈴田地区	延べ利用者数	10,806人
	・萱瀬地区	延べ利用者数	12,541人
	・竹松地区	延べ利用者数	11,353人
	・福重地区	延べ利用者数	8,776人
	・松原地区	延べ利用者数	9,272人
		他に、各地区 毎月1回 住民センターだよりを発行	
		【社会教育課】	
	(8)生涯学習推進事業	生涯学習に関する講演会を開催する。	
		令和元年度は講演会未実施	
		【社会教育課】	
	(9)新中地区公民館(仮称)建設事業	中地区公民館の老朽化にともない、中地区公民館、西大村出張所、中地区ふれあい館を合築した建替えが完了した。	
		・平成31年1月に工事に着手し、令和2年3月に竣工した。	
		基本・実施設計委託 36,595,800円	
		地質調査 3,498,120円	
		工事監理業務委託 18,900,000円 (H31 13,230,000円)	
		建築工事 654,541,000円 (H31 396,541,000円)	
		設備工事 158,831,280円 (H31 95,034,280円)	
		電気工事 136,732,000円 (H31 83,268,000円)	
		総工費 1,009,098,200円	
		【社会教育課】	

【基本目標1】人を育むまち

政策	施策	具体的事業名	点検・評価のコメント
			活動内容等
文化の振興と生涯学習の充実	青少年の健全育成	(1)健全育成協議会支援事業	<p>市内の青少年関係団体並びに関係機関の緊密な連携のもと、青少年の健全育成を図っている。</p> <p>さらに、自転車の無灯火や並列走行、無施錠などが多いので、自転車のマナーアップ運動の推進を図っている。</p> <p>ココロねっこ運動を推進し、広報活動等を通じて大人の意識を変え、地域の子どもたちを地域で見守ることができるように地区健全協活動の支援を行った。</p> <p>「ココロねっこパレードINおおむら」は、6年目を迎え毎年11月に実施し、参加者も年々増えており、啓発活動を実施することができた。</p> <p>自転車マナーアップ運動は、関係機関・団体・市内6中学校・市内4高等学校の協力のもと、春と秋に実施した。</p> <p>健全育成研究大会は新型コロナの影響で中止した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・非行事故防止キャラバン 329人参加 ・健全育成研究大会 中止 ・ココロねっこパレードINおおむら 300人参加 ・自転車マナーアップ運動 延べ525人参加 ・メディア安全指導講習会実施 <p>【社会教育課】</p>
		(2)子ども会育成事業	<p>子ども会加入者の減少は全国的な課題であるが、当市本市も加入者減少に歯止めはかけられない。ただ、子ども会活動は子どもを家庭、学校、地域で育てていくためにはたいへん重要な役割を担っている。各種団体と連携を図り、活動を進めていく必要がある。</p> <p>子ども会の活動を助長し、地域との連携を図りながら子ども会活動への助成を行う。</p> <p>【加入団体数 72単子】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・水 Rocket・子ども大会 356人 ・子ども会研修会 60人 ・子ども会発表会 82人 ・壁画コンクール 78人 <p>【社会教育課】</p>
		(3)巡回補導事業<再掲>	<p>P6 政策・子育てしやすいまちづくり ― 施策・子育てを支える環境の充実、に記載。</p> <p>【社会教育課】</p>
		(4)少年センター管理運営事業	<p>相談窓口の多様化により相談件数自体は増えないが、様々な悩みに対し適切な指導ができた。施設の老朽化により修繕箇所が多くなってきている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・電話や来所での青少年の悩みに対し、適切な指導助言を行い、解決へ導いた。 ・有害環境の浄化のため、白ポスト（有害図書等）の回収や立入調査を伴う社会環境実態調査を実施した。 ・施設の適正な維持管理に努める。 <ul style="list-style-type: none"> ・相談件数 15件 ・立入調査件数 131件 <p>【社会教育課】</p>

【基本目標1】人を育むまち

政策	施策	具体的事業名	点検・評価のコメント
			活動内容等
文化の振興と生涯学習の充実	図書館の充実と整備	(1)図書館管理運営事業	令和元年10月5日ミライオン図書館をオープンし、図書貸出や新聞・雑誌等の閲覧など図書サービスを開始、開館記念のイベントや講演会を実施した。また、郡地区公民館図書室分室や住民センター図書室等の運営を行った。
			利用状況（本館+分室+住民センター等） ・個人貸出冊数 590,410冊 ・新規登録者数 30,038人 ミライオン図書館本館の利用状況 ・個人貸出冊数 496,820冊 ・新規登録者数 27,205人 ・来館者数 264,211人 ・行事等参加者数 5,399人 【社会教育課・図書館】
		(2)図書等整備事業	オープンに伴い、持続可能な図書資料等の購入規模に転換しながら、図書資料へ装備するICタグの購入・貼付等、図書資料整備を実施した。
			・令和元年度末蔵書冊数 190,712冊 購入 4,398冊、寄贈受入 449冊、再登録 1,241冊 廃棄 △1,648冊 【社会教育課・図書館】
		(3)新「大村市立図書館」準備事業	図書館・史料館仮事務所の維持管理を行いながら、ミライオン図書館等への図書等の移転及び配架業務を実施した。仮事務所は、令和2年度から文化振興課に移管するため令和元年度で終了
	ミライオン図書館図書等の移転・配架 R1.4月～7月 約15万冊 中地区公民館図書等の移転・配架 R2.2月～3月 約9千冊 【社会教育課・図書館】		
	(4)ミライオン施設等維持管理事業	ミライオン複合施設（県立・市立図書館、市歴史資料館）の施設・設備等の維持管理を一元的に実施した。	
		電気、消防、空調、環境等の各種法定点検のほか、警備、清掃、緑地帯の維持管理などの業務委託に関する契約事務、受託業者、長崎県との協議・調整ほか 【社会教育課・図書館】	
	(5)ミライオン図書館備品等整備事業	開館年初年度にあたって、ミライオン図書館で使用する備品等の大規模購入を実施した。初度調弁により令和元年度で終了	
		・台車、利用者カート、パーテーションポール、チェーンスタンドなどの少額な備品 2,606,891円 ・テーブル、スタッキングチェア、木製椅子、サイネージ簡易ステージ、展示用パネルなどの高額備品 16,237,611円 ・長崎県が、予算執行し調達した備品等にかかる市負担金 17,872,374円 【社会教育課・図書館】	

【基本目標3】持続可能な行財政運営と市民協働の推進

政策	施策	具体的事業名	点検・評価のコメント
			活動内容等
政効 運率 営的 の推 進開 かれ た行	推効 進率 的 な 行 政 運 営 の	(1)公共施設予約システム 管理事業 【文化振興課】	インターネット及び携帯電話を利用して、公共施設の空き状況の確認や予約ができるシステムの維持管理を実施した。
			公共施設利用者へ時間や場所に縛られないインターネットによる予約システムを提供するために、システムの維持管理を行う。 ・登録施設 19施設（体育文化センター等） ・利用件数 19,021件
地 域 コ ミ ュ ニ テ ィ の 活 性 化 と み ん な で 取 り 組 む ま ち づ く り	地 域 コ ミ ュ ニ テ ィ の 活 性 化	(1)大村市公民館連絡協議 会補助金 【社会教育課】	市公民館連絡協議会に補助金を交付することにより、町内公民館活動の育成・発展を図った。
			大村市公民館連絡協議会補助金 2,500千円 町内公民館 126館 ・令和元年度に実施した事業 5月25日 市公連総会 95人 7月20日 公民館長研修会 84人 10月3～4日 県公民館大会（佐世保大会）※台風のため中止 11月23日 市公民館大会 97人 12月4日 先進地視察（南島原市加津佐町本岩戸公民館）37人 平成31年4月～令和2年3月 各地区研修会 平成31年4月～令和2年1月 理事会（年4回）
	働 市 民 活 動 の 支 援 と 協	(2)町内公民館建設費補助 金 【社会教育課】	町内公民館の増改築（工事及び用地取得）に対し、補助対象事業費の1/2の補助を行った。
			町内公民館建設費補助金 5件 補助総額3,971千円 ・増改築 ①陰平上 (2,241千円) ②橋本 (385千円) ③久津寺本 (72千円) ④水主町 (631千円) ⑤本小路 (642千円)
活 お 互 い を 尊 重 し 、 誰 も が	体 人 権 に 関 する 教 育 と 相 談	(1)市民憲章推進事業 【社会教育課】	市民憲章の推進・啓発のため、名称入りプランターに花苗を植え、中央公民館、教育の館、中地区・郡地区公民館等に設置した。また、永年にわたり、地域の清掃活動等を行っている、個人、団体に対して、「小さな親切運動」功労者表彰を実施している。
			総会 参加者 50人 【講演：ミライonについて 大村市立図書館館長 鈴川章子氏】 【小さな親切運動表彰】 団体4組、個人5人
活 お 互 い を 尊 重 し 、 誰 も が	体 人 権 に 関 する 教 育 と 相 談	(1)人権教育推進事業 【学校教育課】	教職員の人権教育に対する理解を深め、指導力の向上を図ることができた。また、児童の思いやりの心を育むため、講演会、人権の花運動等を実施した。
			8月22日人権教育講演会 参加者 360人 人権の花運動 5校で実施